４　教育に関する学識経験者の意見

認定こども園つつじが丘幼稚園　園長　杉本　伸子

（帯広市立明星小学校　元校長）

帯広市教育基本計画の６年目である令和７年度の取り組みについては、AI 技術の躍進や刻々と変わる世界情勢、人口減少と少子化等、先の見通せない時代にありながらも、帯広の子どもの育つ姿を見据えた施策が着実に推進されていることを高く評価いたします。

基本施策１　帯広の明日を拓く力の育成「２　職業観の育成」では、企業と連携した授業の推進や、様々な職業を体験する「帯広キッズタウン」の実施、幅広いインターンシップの受け入れなど、地元企業と一体となった職業意識の向上策が図られていることがわかります。ふるさとを愛し、ふるさとに根付く豊かな人材育成は、これからの帯広市の発展に欠くことのできない大切なものです。働き手の供給不足が顕著になっている今日、子どもたち自身が日本を支える働き手として展望をもち、夢を描ける未来であって欲しいと誰もが願っています。今後も、豊かな職業観の育成を図る地域と連携したグローバルな教育の推進を期待いたします。

「３　情報教育の推進」では、一人一台の ICT 端末を活用する学習形態が定着し、適切な ICT の活用を位置付けた教育課程が編成されていることがわかりました。今年度、「学びを生かす力の育成」の中の設問で、ポイントを若干減らした項目がありました。今後ますます情報の真偽や正しく活用する力が必要とされる中で、帯広市の教育が正しい情報通信機器の使い方を通して、学びを追求する力を育んでいる点から、ポイントの減少は心配ないものと考えます。今後も、AI 現代を生きる子どもたちに必要な情報教育の推進を進めて頂けることを期待いたします。

基本施策２　変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成「９　教員の資質・能力の向上」では、「授業の内容がよくわかる子どもの割合」にポイントの減少がみられました。施策内容を見ると、夏季・冬季研修講座をはじめとした経験年数に応じた研修の充実、「おび GIGA 支援員」を派遣しての現場での困り感の解消等、大変充実した資質能力の向上策が図られていることがわかります。子どもたちの学ぶべき内容が多岐にわたる現状が、若干のポイントの減少につながったのではないかと推察するとともに、今後も、教職員の育成のために充実した研修が図られることを期待いたします。

基本施策４　安全・安心な教育環境の整備「１４　安全で充実した教育環境の整備」では、今年度市内全中学校の普通教室及び職員室や校長室のエアコンが整備されたことを評価致します。小・中・義務教育学校合わせて、全ての整備が終わるまでには、様々な方法を駆使して学びの環境を整え、授業が行われたことと思います。そのご苦労を思うとともに、安全な教育環境や執務環境が整ったことを嬉しく思います。

学校の適正規模確保は、急速に進む人口減少や少子化の問題と深くかかわっています。また、子どもの学びを支える教職員の育成は、働き方改革を勧めながら推進するという難しい側面を有するとともに、教職員の確保という喫緊の課題を抱え、非常に複雑です。これら教育を取り巻く多くの課題に向き合いながら、帯広市の教育を推進する姿勢を高く評価するとともに、持続可能な社会の創り手として、帯広市の子どもの育成に今後もご尽力いただきますようご期待申し上げます。

帯広市社会教育委員　副委員長　　久 保 田　博 己

帯広市教育基本計画の６年目にあたる令和７年度の取り組みについては、コロナ禍の影響が色濃く残る中、より数多くの活動、対応が行われて、多くの項目で目標値に向けて進捗しており、適切であると判断いたします。

「帯広の明日を拓く力の育成」では、郷土への愛着や誇りを育むため、義務教育期間以降も地域づくりの一員となり、地域社会や学校での活動に主体的に取り組むことができるよう、体験活動や青少年リーダーとして活躍できるような人材育成プログラムの推進を期待します。また、金銭管理や契約などの基礎的な知識を得るなど、地域に必要な人材を継続的に育成し続けられるように、各種団体、地域の人材を最大限に活用し、長期的に、これからの地域づくりを担う人材の参画意識向上を図る必要があると考えます。

「変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成」では、一人一台端末を効果的に使用し、一人一人の関心、習熟に合わせた学びを推進することを期待します。ICT には様々な情報が溢れていますが、その正誤を判断するのは大変困難であり、そのためには、道徳心が必要です。道徳心を育むのはとても時間がかかります。良質な文化、芸術、書物など、各種社会教育施設を最大限活用し、育成することを期待します。さらに、道徳心を育むためには、良いお手本が必要です。家庭や地域、学校の人々全てが、良い手本となるように連携を取りあうことを期待します。

「地域とともに育む教育の推進」では、家庭、地域、学校が協働して、見守り活動が機能し不審者情報をいち早く得られるよう「帯広市子供安全ネットワーク」の周知をして、他の担当部署、関係機関と情報の共有を図り安心して登下校や放課後などを過ごせる地域つくりを期待します。

「安全・安心な教育環境の整備」では、不登校の対応において家庭や個人の多様な考え、悩みの複雑化など、個性に合わせた対応のために関係機関との連携、研修を充実させること、また、社会的自立を支援する、メタバース空間「ひろびろチョイス」を活用し、幅広いニーズに応えることを期待します。いじめ・非行防止のため、個性を理解し個別の背景に寄り添い、家庭や地域、関係機関との連携を深め、迅速かつ柔軟な対応に継続して取り組まれるとともに、帯広市ＰＴＡ連合会や各校区のＰＴＡと連携を密にして、ライフスタイルの変化により子供の権利が損なわれないよう、児童生徒の基本的な生活習慣を確立するための啓発活動を推進することを期待します。

「自ら学びともに支える生涯学習の推進」では、図書館、児童会館、百年記念館、動物園で市民のニーズに合わせた講座、ボランティア体験などが適時に開催されています。今後も多くの方が体験できるよう、オンライン配信の検討や開催時期、時間の工夫を期待します。また、各種ボンティア団体の交流の場を設け、ボランティア意識が活性化、向上することを期待します。

帯広市教育基本計画の後半となった令和７年度ですが、今後も教育関連施設の改修、改築などが考えられます。より良い形になるよう検討を進められることを期待します。個々の施策については、目標の達成に向け着実に取り組みを進められているものと評価いたします。施策目標の達成に至っていない項目については、家庭・地域・行政が、ともに知恵を出し合い目標に少しでも近づけるよう、引き続き努力し続けることを期待します。